

低気圧に伴う降雨による防災情報(第 3 報)

新庄河川事務所では、6 月 13 日 20 時 00 分、災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置し警戒にあたっておりますが、鮭川流域の ^{こまた}小又雨量観測所において、降り始めからの連続雨量が 80mm を超えました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

6 月 13 日(金) 17 時 30 分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

6 月 13 日(金) 20 時 00 分 災害対策支部(警戒体制・砂防)に移行

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量 80mm に達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量 120mm に達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量 40mm に達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(6 月 14 日 8 時 00 分現在)

[赤川流域]

^{ますがた}枅形雨量観測所 連続雨量 160mm(降雨継続中)

^{さらぶち}皿淵雨量観測所 連続雨量 100mm(降雨継続中)

[寒河江川流域]

^{ひぐれさわ}日暮沢雨量観測所 連続雨量 101mm(降雨継続中)

[鮭川流域]

^{こまた}小又雨量観測所 連続雨量 80mm(降雨継続中)

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

調査課長 田村 公仁(内線351)

雨量観測所位置図

赤字: 連続雨量が80mmを超過した雨量観測所

